

豊寿園

FRUITFUL TREE

豊かな樹

Summer 2022

Vol. 55

JAPANESE RED CROSS
SOCIETY FUKUOKA
PREFECTURAL CHAPTER
THE SPECIAL NURSING HOME
HOJYUEN

TOPICS

AREA INFORMATION

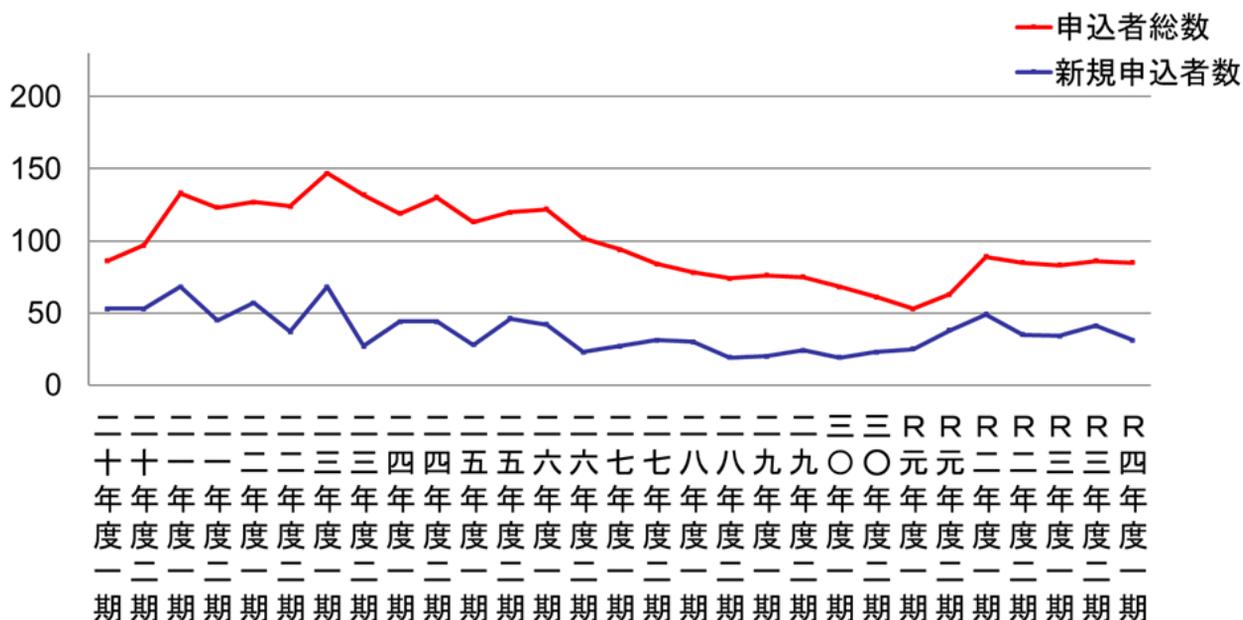
HOJYUEN × FAMILY

HOJYUEN 'S ALBUM



トピックス

T O P I C S



6月からの待機順位が決定しました！

5月19日、外部第三者委員をお迎えし入所検討会議を開催しました。今回、豊寿園には85名の方に入所のお申し込みをいただきました。一時は減少したものの、この2年間は80名以上のお申し込みをいただいています。お申込みいただいた方々のご期待に沿えるよう、サービス内容の充実を図ってまいります。



消防訓練を行いました！

6月、平日の日中に園内で火災が発生した想定で、消防訓練を行いました。いつ発生するか分からない火災。豊寿園では、万一来てて訓練を重ねています。

入所者様の健康診断を行いました！

5月に門司区歯科医師会様のご協力で入所者様の歯科検診を行いました。コロナ禍で2年実施ができませんでしたが、ようやく再開の運びとなりました。

また、6月には健康診断を行いました。入所者様にいつまでもお元気でお過ごしいただけるよう、異常の早期発見に努め、日々の健康管理を行っています。

地域ぶらり情報



可愛い猫ちゃんにかこまれて♪

門司駅より徒歩16分程の住宅街に『Cat mon美cafe』があります。猫ちゃんを育ててみたいなど試してみるもお世話が大変だろうと躊躇している私は、初めて猫Caféに行ってみました！世界の珍しい猫ちゃんが20匹以上在籍して、初めて見る猫ちゃんが多くて、それだけでもワクワクしました。お部屋に入ると、人が好きな猫ちゃんがすぐに寄ってきてくれて、かまってほしいと後ろから服を引っ張られました。準備してある猫ちゃんのおもちゃで、一緒に遊んでみたり、高いところでのんびり過ごしている猫ちゃんを見たりと癒されます。猫ちゃんのおやつ(別料金)で気をひいてみると、ちょっとだけ膝の上に乗ってくれました。お部屋は猫ちゃんの性格や相性によって3つに分かれていて、どの部屋にも行くことが出来ます。奥の部屋にはメインクーンという種別のとても大きな猫ちゃんがいるので圧巻です。ご利用には予約が必要で、料金は30分から180分までのコース料金+ワンドリンクオーダー料金となっています。ドリンクは50種類以上の中から選ぶことができ、高濃度のプラセンタが入っている美容にこだわったドリンクや、韓国発のフォンダウォーターもあります。猫ちゃんが好きなだけアレルギがあり猫に触れられない方のために、大きな窓越しに見ることができる席も設けてあります。猫ちゃんとの癒しの時間を過ごしてみたいはいかがでしょうか。

Cat Mon 美cafe

北九州市門司区下馬寄7-28
※近隣にコインパーキングあり
TEL 093-342-9344
定休日 月・木
OPEN 平日 13:00~18:00
土日祝 12:00~22:00



あとながき

上の娘が高校受験を控え、進路のことを心配するようになり、勉強のことはもとより、将来何になるのかイメージが持てない様子に、親としては不安になります。そんな中、とある就職活動サイトが発表した“底辺の仕事ランキング”なるものが「問題だ」ということでニュースになりました。介護職もランキングに入っており、様々なコメンテーターが「職業に貴賤はない！」と怒っていましたが、個人的には、まだ社会的にはそう見られているのか、という驚きを持ってニュースを見ていました。介護の現場で働く私たちはこの職業に誇りを持っていますので、「そんなに怒らなくても・・・」という気にもなりましたが、この職業の面白さや、やりがいを感じながら取り組んでいない私たちにも責任があるように思います。そんな私たちが誇りを持ち、やりがいを感じながら取り組んだことはすべて、この「豊かな樹」でご紹介していきます。今後も豊寿園にご期待ください。

豊寿園広報担当 森 英樹

発行日：令和4年7月15日
発行元：日赤豊寿園
編集：令和4年度日赤豊寿園広報担当者

表紙撮影：城戸匡美(デイ職員)
撮影場所：豊寿園正面玄関

所在地：〒800-0112 北九州市門司区大字畑1808-5
TEL 093-481-1121 FAX 093-481-5678
Email info.houjyu.jrc@cnc.bbq.jp



今回表紙を飾ってくれたのは、熊本園長(中央)、池尻事務課長(右2番目)、財前庶務係長(右)、福田経理係長(左2番目)、森介護課長職務代理(左)の5人です。80年代に一世を風靡した男性グループをイメージして、道の上でカッコよくきめてもらいました。皆さんノリノリで撮影に協力してくれました。

あなたと向き合った日々

HOUJYUEN × Family

今回は、昨年11月に豊寿園でお看取りさせていただきました村岡和子様のご利用開始から最期の時までの経過について、ご家族了解のうえ、奥水前介護課長の手記をもとにご紹介します。

村岡様との出会いは、令和2年の5月でした。有料老人ホームでお会いした時は、すらつとされ、年齢よりはるかに若く見える方との印象がありました。認知症の症状により、一人暮らしが難しくなり入所されたけれど、常時見守りが必要ということで、豊寿園に入所となりました。当初は、棟内を自由に歩かれていましたが、視力低下から障害物を認識できず転倒の危険があったため、移動は職員の手引きに変更しました。食事は自分で食べられていましたが、ムラがあり残すことが多く、

—すらつとされ、年齢よりはるかに若く見える方との印象がありました。—



今回ご紹介する村岡和子様。入所間もない頃の一枚。いつも穏やかでやさしい方でした。

早い段階で、ハーフ食（通常の半分量に栄養補助食品を添加したもの）に変更し、摂取が進むようになりまし。言動は一致しませんが、急な立ち上がりや、ズボンに触る仕草でトイレに行きたいのがわかり、失敗なく過ごせていました。体操や歌が好きで、職員と一緒に口ずさんだり、おやつを「おいしいね、上品な味！」と職員に話しかけることも増えてきました。慣れてきたころから、昼間はソファで居眠りをされ、夜は寝付けず頻回にトイレに座ることがふえてきました。

—右の脳の大きな血管が完全に詰まって梗塞を起こしていました。—

異変があったのは、令和3年3月でした。朝、職員が水分を勧めると左の口から流れ出てくる、左の顔が垂れ、左腕が脱力していることに気づきました。すぐに救急搬送を行ったところ、右の脳の大きな血管が完全に詰まって梗塞を起こしていました。その日のうちに、手術が行われ、1週間後、無事に後遺症なく退院されました。退院後は歩行にふらつきが見られるようになり、以前にも増して付き添いと見守りが必要となっていました。また、食事や水分を拒否されたり、吐き出すことがみ

られるようになっていきました。令和3年6月になり、嚥下の評価を行いました。この時ご家族へ、食事の入りが悪く、介助に対し拒否が強く、時間がかかっていることを伝えました。無理に食べさせることも本人には負担なのかもしれない。今後さらに、摂取量が減少してきたときの方向性を検討していただくようお願いしました。

—ご家族は「経管栄養はしない。でも点滴はしてほしい・・・」—

ご家族とお話して数日後、水分がほとんど入らなくなつたため、点滴のため受診。これまでは娘さんにお話をしていたのですが、その時は息子さんが来園された為、あらためて、現在の状態をお伝えしました。息子さんは「経管栄養はしない。でも点滴はしてほしい」とのお気持ちだったため、一旦、輸液目的で近隣の病院へ入院していただくことになりました。令和3年7月に、8日間入院。入院中はベッド上で食事を摂られていたため、退院後、食事はベッド上で介助することにしました。けれども、拒否や吐き出しは変わらず、思うように食べていただけませんでした。効率よく栄養を摂っていただけのように、3食を高カロリーゼリーのみに変更

HOUJYUEN × Family

しました。食事以外はソファで皆さんと過ごされ、食事時のみベッドで介助という変則的な対応となりました。

「職員も、食べていただけないジレンマからだんだんと表情が険しくなっています。」

それでも、入院前と変わらず、手で払いのける、口を手でふさぐなど拒否がみられます。何とか口に入ったと思ったら吐き出す、の繰り返し。介助している職員も、食べていただけないジレンマからだんだんと表情が険しくなっています。職員と話し合いを重ね、決して無理な介助は行わないことを確認しました。

9月、再び水分が全く入らなくなりました。ご家族と一緒に点滴に出かけていただきました。点滴後は一時的に摂取量が増えますが、焼け石に水なのでしようか、すぐに摂取できなくなっていました。

9月中旬、娘さんと息子さんが来園されたため、現状をお伝えしました。お二人は、「本人が痛いことはさせたくない、今後食べられなくなれば看取りを希望します。」と話されました。ご家族の意向を確認し、医師と看護、

介護で3食続けて全く食べることができなければ、看取り対応を開始することを決めました。

「亡くなる朝までトイレで排泄をされていました。」

その後、水分は入らないものの、高カロリーのゼリーはなんとか食べられていました。村岡さんはこの状態でも、歩いてトイレに座って排泄をされていました。医師からも一度回復を信じて輸液を勧められたため、1週間だけ入院されました。それでも状態は変わらず、高カロリーのゼリーは飲み込んでくれますが、水分はやはり吐きだしてしまいます。お好きな物だったらどうか、とご家族に好きだったカフェオレを持ってきたいただきましたが数口のみ。食事はそんな状況でしたが、排泄は介助歩行でトイレまで行かれ、お風呂は職員の手を払いのけ、ご自分で洗髪をされていました。

ご家族より確認の電話が毎日あり、水分が入らないことを伝えると「仕方ないですね」落胆されていました。徐々に高カロリーのゼリーも少量ずつしか飲み込めなくなっていました。

ベッド上で目を閉じていますが、手は動いて顔を触っています。口を拭くと「ありがとう」と発語がありました。10月に入ると、トイレに座っても少量の排尿のみ。水分はほぼなめる程度となったため、ご家族と打ち合わせ、看取り対応を開始しました。

10月31日 ご家族の面会。手を握って「童謡を耳元で歌うと口ずさんでました。足も暖かいですね」今日はほとんど食べれていないことを伝えました。

11月1日 夜ほとんど休まれておらず、終始手が動いていました。朝から水分は拒否で数口のみ。時間を空け、高カロリーゼリーを数口。それでもご家族持ち込みのシュークリームのカスタードを口に入れるとごくくんと飲み込んでくれました。介助した職員は嬉しそうに話しました。

13時 目をとじたまま手をしきりに動かしています。このあと、1時間ごとに状態が変化しご家族へ来園を呼びかけ、16時に到着されました。「おかあさん」と呼びかけるご家族の声が続きます。17時半 無呼吸が数回訪れ、ゆっくりと呼吸停止され17時45分永眠されました。亡くなる朝までトイレで排泄をされていました。食べたくないものは食べない。嫌なことはしない。自分でしたいことはする。本当に最期の最期まで、村岡さんらしい生き様だと思いました。ご家族とともに、何が良いのか悩みましたが、最期のその時間をご家族と過ごすことができたことが本当によかったと思えました。

母の日



5月 豊寿園のお母さん達へ感謝をお伝えるべく、母の日会を行いました。ご家族に代わってカーネーションをお贈りし、甘いスイーツに舌鼓！

父の日

豊寿園
アルバム



ドライブ

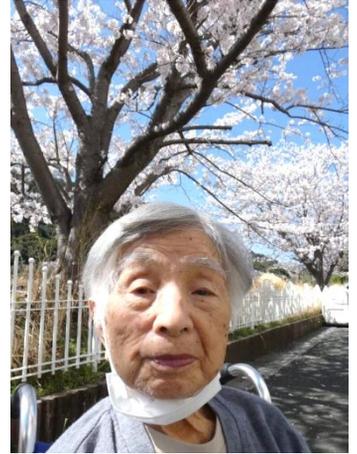


6月 門司港までドライブに。きれいな景色をお楽しみいただき、ようやく以前の生活に近づいた気がしました。

6月 豊寿園のお父さん達にも忘れずに感謝をお伝えするべく、ビールや焼き鳥、ギョーザなどを準備して居酒屋が開店！「美味しいねー」と歓声が上がっていました。

デイサービス

花見



4月 園内の桜を見学しました。
来年は花見に出かけられるといいなあ。

おやつ作り



4月 季節の果物を使ってクレープをつくりました。

茶話会



6月 紫陽花のお菓子とお抹茶
を楽しみました。

野菜作り



6月 今年も野菜の苗を植えました。皆さんでお世話をしてくださっています。

Summer2022

Vol . 55

TOPICS

AREA INFORMATION

HOUJYUEN×FAMILY

HOUJYUEN'S ALBUM



FRUITFUL TREE

JAPANESE RED CROSS SOCIETY FUKUOKA PREFECTURAL CHAPTER THE SPECIAL NURSING HOME HOUJYUEN